

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果等について

小学6年生と中学3年生を対象としたみだしの調査が、4月19日に実施されました。現在、各学校で調査結果の分析・検証を進めており、今後、自校の課題を踏まえた指導の改善に一層取り組んでいくところです。

つきましては、多治見市全体の傾向をお知らせしますので、お子さんの学習習慣や生活習慣を見つめ直す際の参考として活用いただきますようお願いいたします。

1 学力調査の結果より

調査を行った教科「国語、算数、理科」の平均正答率については、国・県の値とほぼ同等です。また、各調査結果から今後付けたい力として、以下のことを挙げるができます。

- | |
|---|
| <p>【国語】同音意義に気を付けて、漢字を文の中で正しく使うことができること
文章に対する感想や意見を伝え合い、文章のよさ(事例のあげ方・文書の構成など)を見付けること</p> <p>【算数】さまざまな数量関係に興味・関心をもち、日常の場面に対応させながら割合について理解すること</p> <p>【理科】自分や他者の考えを比べ、差異点や共通点を基に、疑問をもつこと
結果の具体的な数値や、それを分析した内容などを根拠として自分の考えを表現すること</p> |
|---|

ご家庭では、学校から配付される個人票を参考に、「できた問題とできなかった問題」また「なぜ間違えたか」などを具体的に話し合ってみてください。

また、明らかになった課題に対して今後努力することや気を付けていくことを、お子さん自身が決めるようなふり返りとなるようお声がけをお願いします。

2 質問紙調査の結果より

質問紙調査において国や県の傾向とは異なった結果（上下に1ポイント以上の差があった問い）から主なものをまとめると、以下のようなことがいえます。

<学習習慣>

- ・一日の家庭における学習時間(月～金)1時間以上が約60%で国とほぼ同等です。
- ・1日当たりの読書時間は、国や県よりも上回っていますが、30分以上読書する割合は40%を下回っています。どの教科も、読書の時間が長いほど正答率が高い傾向にあります。
- ・学級の仲間との話し合いの中で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている割合は、国や県と同等です。
- ・自分の考えが伝わるように工夫して話すことは国や県よりも下回っています。

<生活習慣>

- ・自分にはよいところがあると思う割合は、国・県を上回っています。
- ・毎日、朝食を食べている割合は約90%で、国・県を上回っていますが、毎日同じくらいの時刻に寝ている割合は約40%で、国や県よりもやや下回っています。どちらも習慣になっている子ほど正答率が高い傾向にあります。
- ・難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している割合は、国や県を上回っていますが、市の割合は約30%と低いです。挑戦していると回答した子は、していないと回答した子に比べて、正答率が高い傾向にあります。
- ・地域行事への参加など、地域や社会への関心は、国をやや下回っています。

本調査からも、家庭や学校での学習習慣・生活習慣が学力にも大きく関わっていることは明らかであり、『習慣』は、意識して努力を続けることにより必ず改善できます。

家庭と学校が協力し、子どもが望ましい習慣を身に付け、将来の自立や個性豊かな自己実現に向かっていくことができるよう、今後もお理解とご協力をお願いいたします。